

オンライン

# 住宅医 スクール

## The projects of Architectural Pathologists 2023-01

住宅医の仕事紹介 2023-01

量から質へ。既存住宅に関する知識や技術が求められる時代です。  
既存住宅の調査・診断から改修設計・施工・維持管理等ができる「住宅医」を育成するため、  
今年も住宅医スクール2023(第14期)を開催しています。

「住宅医の仕事紹介」は、全国で活躍している住宅医の仕事を発表し合う場です。  
2023年第1回は、大阪府、東京都の3名の住宅医による仕事をご紹介します。

7/14 (金) 17:00~19:00

住宅医の仕事紹介 2023-01  
オンライン開催 (ZOOM利用)



尾崎 誠一  
(株) 参創ハウテック  
【東京都】

### 『狭小地に建つ住まいの再利用 ～耐震と温熱を強化し快適な住まいへ』

東京都文京区の狭小地に建つ、築45年の2階建て住宅の改修事例です。事前に調査を行い、耐震補強、断熱補強、間取りの変更を行いました。温熱性能の向上が第一の目標でしたので、付加断熱により性能を向上し、また、空調設備は床下エアコンを設置して、住まいの温熱環境をさらに向上できるように計画しました。



日野 弘一  
WASH建築設計室  
【大阪府】

### 『調査診断から始まる住宅改修 ～補助金を活用した3事例の報告』

既存建物の改修計画を実施するときに補助金の話は避けて通れません。直近の事例で活用した補助金を整理してみました。大阪市の修景事業を活用した淀代のいえ、既存住宅を残して増築をし、長期優良住宅化リフォーム事業を活用したサクラサンダイのいえ、7軒長屋の2住戸を改修して、全体で大阪市の耐震補強補助と空家補助を活用した大宮の長屋の3事例です。



徐 裕晃  
(株) 杉坂建築事務所  
【東京都】

### 『K I P (kato Innovation Project) ～パッシブリフォーム・建具開発』

建具メーカー役員の施主、住宅技術評論家南雄三氏、杉坂建築事務所による、建具+断熱+建築の専門家が手掛けた「パッシブリフォーム」「パッシブ建具開発」の改修事例です。築40年の民家を住宅兼建具ショールームとして、さらには地元作家が個展を開き、地元とつながる場所となりました。住宅医の長期優良住宅先導事業採択事例です。

対象者 どなたでもご参加いただけます (※ZOOMを用いたオンライン形式でご参加頂きます)

定員 100名程度

参加費 無料

参加申込 一般社団法人住宅医協会ホームページ <申込フォーム> よりお申込みください。

申込締切 2023年7月12日(水)

主催 一般社団法人住宅医協会



【申込URL】<https://sapi.or.jp/skillup20230714/>